

―農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する最新手法 GAP―**2013 年 GAP 普及大賞****農業生産法人かさい農産 GAP 実践の深化と新規就農支援
の取り組みが受賞しました**

日本 GAP 協会（理事長：木内博一）は、6 月 29 日に GAP 普及大賞の選考会を開催し、農業生産法人かさい農産（岩手県一関市）の取り組みを含む 3 つの GAP 普及の優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

■受賞事例（農業生産者による GAP 普及）**GAP 実践の深化と新規就農支援**

<受賞者> 農業生産法人かさい農産

農業生産法人かさい農産の取り組みは、自らの農場でさまざまな GAP を実践し、その経験をもとに地域の農業生産者および新規就農者に GAP の講習や指導を行っている事例です。

農業生産法人かさい農産は、施設野菜を中心に生産する中で、生協 GAP、JGAP、グローバル GAP と種類の異なる GAP を実践しています。いわて生協農産産直生産者協議会会長を務め、いわて生協管内の農業団体の内部監査を行い、GAP に関する豊富な経験をもとに農産物の安全、農場管理に関する GAP 講習等を農業生産者対象に行っているなど、GAP の取り組みを生産者の立場から普及している点が高く評価されました。

また、従業員は現在 27 名で毎年新規就農者を 2～3 人採用し人材育成しており、ここで GAP 手法や農場運営のノウハウを勉強し独立する人もいます。独立した新規就農者と一緒に JGAP 団体認証を取得していくことも計画しています。GAP で得られる取引先からの信頼を得て販路確保につなげ、新規就農者の定着をよりスムーズにしていく等、裾野の広い GAP 普及の取り組みに発展していく可能性も高く評価されました。

GAP 普及大賞は、今年一年間で最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。

2013 年 GAP 普及大賞の選考委員は次の通り。

中嶋康博（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

岩元明久（日本農業普及学会 常任理事）

梅本雅（農研機構 中央農研センター 企画管理部長）

NEWS RELEASE

かさい農産（岩手県一関市）の取り組みに加え、下記の 2 事例が同時に受賞しました。いずれも優劣付けがたい GAP 普及の優良事例です。

■受賞事例（教育機関による GAP 普及）

GAP 普及に向けた教育プログラムの開発

<受賞者>宮崎大学農学部

■受賞事例（生産者連携による GAP 普及）

産地形成における GAP 利用のさきがけ

<受賞者>JA 東予園芸とゼスプリゴールド部会

以上、3 受賞事例につきまして、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場ください。

■シンポジウム「GAP Japan 2013」

日時：2013 年 7 月 26 日 13 時から 17 時

場所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1）

関連ホームページ：http://jgap.jp/LB_06/index.html

問合せ先：佐久間 TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: info@jgap.jp

（取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。）

御社名 _____ 部署名 _____ 御名前 _____

住所 _____ 電話番号 _____